



第77回清水みなと祭り



静岡地本は8月1日(土)と2日(日)、清水港日の出埠頭(静岡市)で開催された第77回清水みなと祭り清水マリンフェスタで広報活動を行った。

海自の護衛艦「はるさめ」が入港し艦内や甲板を公開したほか、静岡地本が岸壁で制服試着体験、自衛官採用制度説明などを行った。

土曜日は陸自の16式機動戦闘車2両が会場に登場。日曜日は、陸自の野外炊具1号や水タンクトレーラ、救助用油圧器具が展示され、県内外の空自基地から飛来した練習機と戦闘機が会場上空で展示飛行を行った。

「はるさめ」の見学には2日間で4100人が訪れ、見学受け付けを早期に打ち切るほどの人気となった。来場者は陸・海・空それぞれの自衛隊を間近で見学し、時には自衛官に質問をして「すごい」「カッコいい」と目を輝かせていた。



静岡地本は8月20日(木)、陸自東富士演習場と富士駐屯地(小山町)で女性限定職場見学バスツアーを開催した。

中学生以上の女性とその保護者21人が参加し、まず演習場で野戦特科の幹部初級課程実射訓練を見学した。隊員が協力して19式装輪自走155ミリリゅう弾砲の射撃を行う姿や、高台から双眼鏡で観測を行う様子、指揮所の状況などを興味深く見学し、女性幹部自衛官から話を聞いた。

駐屯地では、隊員食堂での体験喫食、整備工場の見学、戦車回収車の体験試乗、女性隊員との懇談、生活隊舎モデルルームの見学を行った。懇談では、隊員が自らの経験や仕事内容などを紹介し、同性だからこそ話せる内容にも関心が集まった。参加者は熱心に耳を傾け、疑問や不安点を質問していた。

女性限定職場見学バスツアー



地域の輪 笑顔で繋がる 職業講話

富士

富士所は9月7日（月）、富士宮市立大宮小学校で職業講話を行った。これは、自衛隊の仕事について知ってもらおうと行ったもので、6年生84人が参加した。当日は講話のほか、ロープワーク、自衛隊体操、背のう体験も行った。

講話を担当した宮川夕湖陸曹長は、動画を交えて自衛隊の幅広い仕事を紹介した。また、6年生の担任の中に中学校の同級生がいることを発表すると、児童らから驚きの声が上がった。

ロープワーク体験では、海上自衛官が本結びや巻き結びといった日常生活でも使える簡単な結び方を実演。児童一人一人がロープを持って挑戦し、自衛官に「できてる」と確認してもらうと、嬉しそうに何度も練習していた。

自衛隊体操では、自衛官の「元気づけいっくよ!」という声掛けに合わせて思い切り体を動かし、背のう（リュック）体験では、15キロの重りが入った背のうを背負って、自衛官の精強さを体感していた。



静岡

駿河総合高校でJ X R部隊展開訓練を実施

静岡所は7月23日（木）、県立駿河総合高校（静岡市）で行われた令和8年度自衛隊統合防災演習（J X R）部隊展開訓練に参加した。

陸自第34普通科連隊第1中隊と第1後方支援連隊が災害派遣車両や野外入浴セットなどを展開し、大規模災害発生時の活動拠点としての実行性を確認した。

静岡地本は、同校の生徒と教職員合わせて約140人に防災講話と自衛隊の活動紹介を行った。発災時の自衛隊の役割や自助・共助について説明し、防災食としても有用なスティックライスの試食、ホイッスルやアルミシートなどが入った防災ボトルの配布を通して災害に備える大切さを伝えた。生徒らは「自助・共助の重要性を学ぶことができた」「初めて食べたスティックライスがおいしかった」と感想を話していた。

屋外では、第34普通科連隊が高機動車・軽装甲機動車・偵察用オートバイ、被災者を捜索・救助する「人命救助システム」を展示。第1後方支援連隊は野外入浴セットを展示し、被災地での入浴支援について説明した。生徒らは興味津々な様子で自衛官に質問をしたり、「野外入浴セットが温泉みたいで、ドライヤーやベビーベッドまであって驚いた」と感嘆の声を上げていた。



受験希望者が空自第1術科学校で授業等を体験

浜松所は8月20日（木）、空自第1術科学校（浜松市）の協力を得て、受験希望者向けの体験入校を行った。同校は浜松基地に所在し、航空機やレーダーの整備員などの教育を行っている。自衛隊の受験を考えている人やその家族、合わせて16人が参加した。

授業体験では、レーダーの教育で使用されている最新のVR装置を体験し、空自の任務や職種について理解を深めた。施設・装備品見学では、学生隊舎で隊員の生活環境を確認したほか、航空機やベトリオットなどの装備品にも触れることができ、参加者は「本物の器材を使って教育していることを初めて知った。自分も将来操作してみたい」と、受験への気持ちを高めていた。

最後に、運用、整備、総務、幹部の4グループに分かれ、同校で教官などとして勤務している隊員との懇談を行った。学生が術科学校を卒業して現場へ出る時の気持ちや、部隊配属後の教育訓練などについて質問があり、参加者は「どうやって難しい知識や技術を身に付けて一人前の自衛官になるのか、実際に体験したり話を聞いて理解できた。疑問が解消され、安心した」と満足そうだった。



浜松



現役時代の任務は航空機整備であり製織は全くの素人でしたが、自衛隊で覚えた機械知識、電気に関する知識は非常に役に立ち、楽しみながら業務を進めることができました。自衛隊を退職してからだいぶ遅くはなりましたが、当時の関係者の皆様にこの場を借りて御礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、本訓練で一番印象に残っていることは、荒井陸上幕僚長から激励を受け、牧野将補とも会食できたことです。現役時代にこのような状況は考えられず緊張しましたが、一生忘れられない出来事になりました。食事の時間も短くなるほどのスケジュールにその時は「きついな」と思っていました。訓練が終わって改めて振り返りますと「とても充実していた」と感じてきました。訓練担当部隊の方々の事前調整や綿密な準備のおかげです。

また、予備自衛官になってから初めて通訳技能予備自衛官の方と一緒に総合訓練をして、その能力の高さも驚きました。さらに、総合訓練では概ね個人装具フル装備を体験できました。装備はかなりの重量、かつ、訓練時は気温もあり動くのが汗が噴き出しました。総合訓練を通じて何をやるべきで、現在何が足りないのかの目標が明確になりました。足りない部分は日々の鍛錬を継続し、今後の招集訓練へ生かしていきたいと思います。

私は、令和8年度の予備自衛官中央訓練に静岡県予備自衛官代表として参加させていただきます。私の勤務先はサカイ産業株式会社と言います。高機能繊維（ガラス・炭素・アラミド等）を材料として、製織から複合材の製造までをワンストップで提供する会社で、2028年10月に創業110年を迎える繊維業界の先駆けです。また、サッカーJ2リーグの「藤枝MYFC」をユニフォームパートナーとして応援しています。

私自身は、会社に勤務してからは主に炭素繊維織物製織に携わってきました。自衛隊

現役時代の任務は航空機整備であり製織は全くの素人でしたが、自衛隊で覚えた機械知識、電気に関する知識は非常に役に立ち、楽しみながら業務を進めることができました。自衛隊を退職してからだいぶ遅くはなりませんが、当時の関係者の皆様にこの場を借りて御礼を申し上げます。ありがとうございます。



私は、令和8年度の予備自衛官中央訓練に静岡県予備自衛官代表として参加させていただきます。私の勤務先はサカイ産業株式会社と言います。高機能繊維（ガラス・炭素・アラミド等）を材料として、製織から複合材の製造までをワンストップで提供する会社で、2028年10月に創業110年を迎える繊維業界の先駆けです。また、サッカーJ2リーグの「藤枝MYFC」をユニフォームパートナーとして応援しています。

私自身は、会社に勤務してからは主に炭素繊維織物製織に携わってきました。自衛隊



本部活動報告

1日静岡地方協力本部長も活躍 清水ホビーショー

静岡地本は8月29日（土）と30日（日）、清水マリニビル（静岡市）とその周辺で開催された第4回清水ホビーショーに参加し、広報活動を行った。

これは、静岡が誇る模型産業に親しんでもらおうと開催された体験型イベントで、静岡地本は陸自部隊とともに屋外広場に広報ブースを展開した。

陸自普通科教導連隊が小型トラックと中距離多目的誘導弾、第34普通科連隊が大型トラックと救急車を展示し、高機動車の体験試乗も行った。

静岡地本は、装備品の模型展示やオリジナルうちわの配布を行ったほか、隣接する商業施設に自衛隊サテライトブースを開設。制服試着やVR体験など、大人から子供まで楽しめる内容で自衛隊を紹介した。

29日は、静岡で活動しているアイドルグループ「Orange Leaf」の1日静岡地方協力本部長委嘱式を実施。航空自衛官の制服に身を包んだ2人がブースを回り、来場者の対応や自衛官とのトークで会場を盛り上げ、ブースの魅力をアピールした。



本部

前期定期表彰（7月27日）

第4級賞詞（職務遂行）

袋井所 1等空尉 菊池 雅也
援護課 陸曹長 笹原 孝文
浜松所 2等空曹 桐林 意織
静岡所 2等海曹 遠藤 舞

第5級賞詞（職務遂行）

センター 1等陸尉 本多 真
静岡所 准陸尉 小柳 良介
三島所 陸曹長 佐藤 和令
清水所 2等陸曹 望月 友美

第4級賞詞（車両無事故）

清水所 2等陸曹 望月 友美

第5級賞詞（業務改善）

浜松所 2等空曹 野沢 直巳

転出

▽ 高知・第50普通科連隊
1等陸尉 本多 真（センター）

▽ 北熊本・西部方面特科連隊
陸曹長 笹原 孝文（援護課）

8月1日付

▽ 浜松・航空教育集团
1等空尉 有吉 将人（浜松所長）

9月1日付

部内異動

▽ 援護課 陸曹長 中島 法史
（袋井所）

▽ 総務課 2等陸曹 望月 友美
（清水所）

8月1日付

定年退官



センター 陸曹長

坂 武平

（8月27日付）

転入

▽ センター 1等陸尉 松井 敦志
（那覇・第15旅団司令部）

▽ 藤枝所長 1等陸尉 尾方 弘亜喜
（守山・第10師団司令部）

▽ 浜北所 陸曹長 近都 全弘
（朝霞・第1偵察戦闘大隊）

▽ 袋井所 陸曹長 久保 貴弘
（板妻・第3陸曹教育隊）

▽ 総務課 1等陸曹 松林 正樹
（朝霞・東部方面システム通信群）

▽ センター 1等陸曹 寺崎 美砂
（東立川・東立川駐屯地業務隊）

▽ センター 1等陸曹 衛藤 潤
（駒門・機甲教導連隊）

▽ 総務課 1等陸曹 庭崎 和彦
（富士・情報学校情報教導隊）

▽ 清水所 3等陸曹 杉山 敬亮
（北富士・東部方面特科連隊）

8月1日付

▽ 浜松所長 1等空尉 松井 啓倫
（輪島・第23警戒隊）

9月1日付



静岡地本 10、11、12月 主要行事予定

10月

5日…転入者紹介・定年退官行事（砂子曹長）
10日…幹部候補生・幹部候補曹1次試験
予備自衛官1日間訓練（本部）
13日…2等陸・海・空士試験（WEB）
17日…防衛医科大学校看護学科学学生1次試験
18日…一般曹候補生2次試験（口述・身検）
2等陸・海・空士試験（口述・身検）
24日…防衛医科大学校医学科学学生1次試験
25日…一般曹候補生2次試験（口述・身検）
2等陸・海・空士試験（口述・身検）
31日…防衛大学校学生1次試験

11月

1日…板妻駐屯地創立記念行事
6～10日…予備自衛官5日間訓練（滝ヶ原）
15日…田子の浦ポートフェスタ
（富士市）
バイクの集いin浜北（浜松市）
20～24日…予備自衛官5日間訓練（板妻）
21～22日…タミヤフェア（静岡市）
22日…予備自衛官1日間訓練（板妻）
24日…2等陸・海・空士試験（WEB）
28日…2等陸・海・空士試験
（口述・身検）

12月

1日…一般曹候補生1次試験（WEB）
11～15日…予備自衛官5日間訓練（板妻）
12日…SHIZUOKA OUTDOOR FRIENDS
（静岡市）
13日…予備自衛官1日間訓練（板妻）
15～16日…清水秋葉山大祭（静岡市）
18日…定年退官行事
（浅沼1曹・永井准尉）